

当施設をご利用の皆さまへ

「県立愛川ふれあいの村におけるクマへの対応について」

連日、新聞・テレビ等で各地のクマ出没や被害について報道されている中、当施設にもご利用を検討中の皆様からのお問い合わせが複数寄せられております。

愛川ふれあいの村におきましては、サル、シカ、イノシシ、アナグマ、タヌキ、モグラといった野生動物の出没は確認されておりますが、これまでのところ施設敷地内ならびに施設外周路付近でのクマの目撃情報はございません。

当施設の所在地である神奈川県愛甲郡愛川町半原地区は、クマ（ツキノワグマ）の生息が確認されている丹沢山系の東端に位置している関係で、隣接の相模原市、厚木市、清川村とともに、確定・未確定を含め、例年クマの目撃情報が幾つかあがっています。

神奈川県の自然環境保全課が発表した資料によりますと、丹沢山地におけるツキノワグマの生息数は推定約 80 頭とされており、令和 7 年 11 月 20 日現在、県全体で 64 件の目撃等の情報が公表されています。このうち愛川町での目撃は、未確定のものも含めて 5 件となっており、県西部に比べると割合としては低いとはいえ、当施設から数キロ圏内の山中に、ツキノワグマが生息していることは間違いないといわれています。

愛川ふれあいの村では、サル、イノシシ、カラスといった有害鳥獣による被害を未然に防ぐため、10 年以上前から「食料品、野菜・果実等の廃棄物（ゴミ）を屋外に放置しない」「車両での施設内外の巡回警備」「有害鳥獣駆逐用花火の常備」「電気柵・箱罠の設置」といった各種対策を継続しており、昨今の全国各地でのクマ出没・被害等の報道を受けて以降は、施設職員による定期的な巡回、ご利用者様への注意喚起等を強化した他、有害鳥獣対策用具の拡充など、施設をご利用の皆さまが安心して野外体験活動を行なう事ができるよう日々尽力しております。

当施設では必要に応じてクマ鈴の貸し出しを行なっておりますが数に限りがございます。施設をご利用の皆さまにおかれましても、クマ鈴のご持参をはじめとする自衛措置にご協力くださいますようお願い申し上げます。とくに当施設からほど近い仏果山、高取山等への登山をされる方は、クマ鈴やラジオの携行など、ご自身で自身の身を守る手段を講じていただきますようお願いいたします。

なお施設としても、引き続き愛川町役場との情報交換を密に行なう他、県の自然環境保全課、鳥獣被害対策支援センターといった関係機関から発せられる最新情報の収集を続け、クマをはじめとする野生動物の被害を受けないために必要な対策を可能な限り取り入れていくことで、安心してご利用いただける施設の整備・維持に努めます。

令和 7 年 11 月 26 日
神奈川県立愛川ふれあいの村